

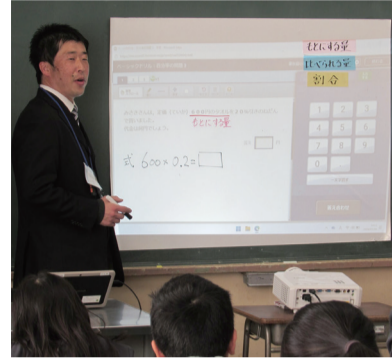
教育
広報

あきる野の教育

2026(令和8)年3月1日

編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

あきる野の学びを



写真：東秋留小学校でのタブレット活用の様子



アップデートします!

用語解説

***1 GIGAスクール構想**
デジタルを活用した新しい学びを進めるため、児童・生徒一人一台端末や、教室内のインターネット接続環境など、学校の学習環境を整備・活用する国の取組。

***2 生成AI**
文章や画像などを自動で作り出す技術で、学習の支援や考えを広げる場面で、適切なルールの下、活用が進められています。

***3 ICT支援員**
学校でのデジタル活用が円滑に進むよう、機器の操作支援や授業準備の補助などを行い、先生や子どもを支える専門スタッフで、各学校に週1日程度訪問しています。

タブレット端末の更新

令和2年度に、GIGAスクール構想（*1）に基づき整備したタブレット端末を、今年1月に更新しました。従来の端末と比較して、処理性能やバッテリー性能の向上により、児童・生徒の学びを更に支援します。

デジタル×リアルの融合

デジタル活用を進める一方で、学びの在り方そのものを見直し、デジタルとリアルの最適な組み合わせにより、児童・生徒一人一人の興味関心に応じた新しい学びの創造に取り組みます。

学びのアップデート

デジタル教材・生成AIの活用

GIGAスクール構想の推進に向け、デジタル教科書やオンラインドリルなどのデジタルコンテンツに加え、生成AI（*2）といった先端技術を学習に取り入れることで、児童・生徒一人一人に個別最適化された学びを更に充実させ、より質の高い教育環境の実現を目指します。

教員の利活用能力の向上

進歩する技術や学びを実現できるよう、ICT支援員（*3）を配置し、技術的な助言や、ICT機器の活用方法の提案、デジタル教材作成の支援等を実施し、デジタルの利活用に慣れていない教員の不安を軽減するとともに、教員全体のデジタル利活用能力の向上を目指します。